

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【令和 4 年度】

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（別紙 2 - 2）事-①～⑨

小規模多機能ホーム 百佑
〒 899-3306
鹿児島県日置市吹上町小野 1478 番地
TEL 099-245-1580
FAX 099-245-1581

（別紙 2 - 2）

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 12日 (月)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 上口、地頭所 (奈)、牧内、下水流、有村、谷口、作下、下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (梨)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	5人	0人	0人	12人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none">・利用者様が利用する時に不安にならないように、利用者様の情報を早めに職員全員に周知するようにする・初めての利用者様宅が事前にわかるように自宅確認をする時間を設ける。・送迎の時に話しができるご家族は信頼関係を築くことはできるが、県外に居住しているご家族は状況がわからず不安になるので、こまめに連絡を取り、信頼関係を築くようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
職員一人ひとりが利用者様の情報を把握する事に努める事が出来た。 利用者様宅を利用する前から訪問する時間を設ける事ができ、サービス提供がスムーズにできた。 家族との関係性は送迎時に会う機会がなく信頼関係を築く事は難しかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	4			12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	7			12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	5			12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	6	1		12

できている点
<ul style="list-style-type: none">・利用者様の情報は今まで通り、申し送りやミーティングで状況把握はできている。・利用者様の情報を自ら知り得る為、積極的に聞き取りや情報を取り入れる事が出来た。・新規の利用者様が不安にならないように、積極的に声かけができた。・初めての利用者様においては、顔の表情などを見て、自分の経験から対処ができた。・家族との関係性は連絡ノートを通して行えた。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・利用者様の情報は知り得ることはできたが、家族間の情報までは収集できなかった・新規の利用者様にはなかなか声かけが難しかった。・家族との関係性は深入りすることで気まづくなるのではと思うと発言や助言ができなかった。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・利用者様の情報を共有し、支援内容、声かけなどもできるように話し合いを深めていく。・介護現場の経験のない職員が不安なく利用者様に接する事ができるように助言等をこまめに行っていく。・家族との関係性を築くために、連絡帳を活用し、こまめに状況や情報を書くようにする。・家族間の信頼関係を築けるように、コロナが終息した時には、家族会など開催できるように準備をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 令和 4年 12月 12日 (月)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 上口、地頭所 (奈)、牧内、下水流、有村、谷口、作下、下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (梨)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	1人	人	12人

前回の改善計画
・計画書に全員が目を通し、一人一人の目標を理解し、その目標を達成するため、職員の声かけ、支援内容を統一して一緒に取り組むようにする
前回の改善計画に対する取組み結果
・担当の利用者様の計画書などは目を通し、目標、支援内容など把握はできたが、その他の利用者までは把握できななかった。 ・概ねミーティングで知り得た情報で利用者の目標を把握し、寄り添う事が出来た。 ・自ら利用者の目標を知ろうとしなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	6	3	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7	2	1	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	3	1	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	7	3		12

できている点
・ミーティング等で発言を積極的に行い、利用者様に対応ができていた。 ・担当利用者のサービス計画書には目を通す事が出来た。 ・利用者様の気持ちに寄り添い支援ができています。 ・利用者様、ご家族の意見を取り入れながら、職員間で連携が取れている。 ・利用者様の目標に向かって対応している。 ・利用者様の会話の中で自分なりに「～したい」「～したくない」を聞き取り対応している。

できていない点
・本人の目標が「～したい」に繋がっているのか解らない。 ・個人ファイルを見る事が習慣化されていない ・自分の考えを他の職員に伝える事ができていなかった。 ・利用者様一人一人の目標が把握できていなかった。

次回までの具体的な改善計画
・担当利用者様だけでなく、他の利用者様の事の目標を把握する。 ・個々の目標に対してモニタリングができるように評価表を作成する。 ・利用者様の目標を達成できるように会話の中に話題を用いる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 令和 4年 12月 12日 (月)

3. 日常生活の支援

メンバー 上口、地頭所 (奈)、牧内、下水流、有村、谷口
作下、下田平、永野、中玉利、地頭所 (清)
地頭所 (梨)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	1人	人	12人

前回の改善計画
本人、ご家族から幼少期のことや趣味、仕事の事を聞いて、職員間で情報を共有していく。 体調の変化や身体機能の変化を随時、職員間で把握し、その時の状況を瞬時に対応できるように、技術面を向上させる
前回の改善計画に対する取組み結果
・体調の変化、身体機能変化についてはミーティング等で情報を共有し、対応ができた。 ・利用者様の以前の様子を聞き取る事は、記憶が曖昧な事もあり、聞き取る事ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		8	3	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	6			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	9	1		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	7			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	9			12

できている点
・本人の状況に合わせて、食事や入浴、排せつの対応はできている。 ・体調の変化等は職員間で随時情報を交換し、対応はできている。 ・本人の状況に変化あった場合は、家族とも情報を交換し、その時の状況で支援内容を検討する事が出来た。 ・利用者様の直近の事は会話の中で聞き取る事が出来た。

できていない点
・利用者様の「以前の暮らし方」を把握できないし、聞き取るにも自信がない。 ・事業所での本人の状況は把握できるが、自宅での暮らし方が見えない事がある。 ・コロナ禍のため、家族との関わりが減少し情報が少なくなった

次回までの具体的な改善計画
利用者様全員の生活環境や生活歴を把握するのは困難である為、担当利用者様の情報を聞き取ったり、調べて、それぞれ職員間で共有できるようにしていく。特に生活歴については質問内容を統一し、経験不足の職員が負担にならないようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 令和 4年 12月 12日 (月)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 上口、地頭所 (奈)、牧内、下水流、有村、谷口
作下、下田平、永野、中玉利、地頭所 (清)
地頭所 (梨)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6人	5人	人	1人	12人

前回の改善計画
コロナ禍で地域の方やご家族の方との関わる機会が減少してきたが、ここでの利用時の様子や、レクリエーションの一環として行っている行事等の様子を写真などに残し、事業所全体をアピールし地域と関わっていく
前回の改善計画に対する取組み結果
・レクリエーションなどの様子を写真に収め、ここでの様子を家族や地域の方に伝える事が出来た。 ・2ヶ月に1回「百佑便り」を作成し、利用者様の状況を写真を通して家族に伝える事は出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	8	2		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	9	1		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	2		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	2	5	4	1	12

できている点
・ミーティング等で在宅での生活状況は情報共有できている。 ・レクリエーション活動に積極的に取り組み、写真など残して、家族に伝える事ができている。 ・本人との日常会話の中で在宅での生活を聞き取る事ができている。 ・連絡帳にて、家族からのコメントがあった場合は職員間でその日その日で共有はできている。

できていない点
・地域との関わる機会が少ないため、連携ができていない。 ・家庭の事や地域の関わりが解らない。 ・コロナ禍の為、地域との関わりが少なくなってきた。 ・自分から本人・ご家族に積極的に接する事ができていない。 ・民生委員の方や地域資源の事が経験不足の為、知らない。

次回までの具体的な改善計画
・引き続きレクリエーションの一環として行っている行事等の様子を写真などに残し、事業所全体をアピールし地域と関わっていく。 ・4市町の地域資源を調べ、職員間で情報を共有していく。また、事業所付近の民生委員を職員で周知していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 令和 4年 12月 12日 (月)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 上口、地頭所 (奈)、牧内、下水流、有村、谷口
作下、下田平、永野、中玉利、地頭所 (清)
地頭所 (梨)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	6人	4人	人	12人

前回の改善計画
地域別に区分すると4ヶ所あるので、それぞれの地域資源を調べ、職員全員が把握できるように、図や表を作成する。 小規模多機能居宅事業所とはどのようなサービス事業所であるのか、職員全員が説明できるようにする
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 地域資源については、配食サービスを利用している利用者様は把握できているが、その他の資源は活用できていない。 小規模多機能ホーム百佑のパンフレットなど作り直しをしたが、分かりやすく事業所の説明をして欲しいと電話で相談がきたときにしっかり説明できる職員は数人である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	3	5	1	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	6			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	6			12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	7			12

できている点
<ul style="list-style-type: none"> 利用者様が求めている支援はできている。 利用者様の状況に合わせて柔軟に対応はできている。 台風や強風など災害に合わせての支援もできた。 ミーティングで利用者様の状況変化には話し合いができ情報を共有できた。 日々介護をしている中で、いろいろな情報を取り入れ、変化した事には多様に応じて支援ができた。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染防止の為、行動制限等があり、なかなか外部との関わりができない。 地域の資源を活用できていない。 事業所の説明を頭の中では理解しているが、相手にどう伝えたらわかってもらえるか伝え方が解らない。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"> 今までと同様、柔軟にサービスを提供できるようにする。 災害や緊急時に対応ができるように環境を整えている。 災害対策の為、各市町の避難場所や情報を収集する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 12日 (月)

6. 連携・協働

メンバー 上口、地頭所 (奈)、牧内、下水流、有村、谷口
作下、下田平、永野、中玉利、地頭所 (清)
地頭所 (梨)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	5人	3人	2人	12人

前回の改善計画
コロナ感染拡大防止を徹底し、地域のイベント等に参加ができるときは、少人数で参加していく。外部からの訪問が可能になった時は、入りやすい場所になるように環境を整えている。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・なかなか地域のイベントには参加できていない。・電話での相談には対応はできた。・コロナ感染が拡大しないように予防対策には徹底した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	1	8	1	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	3	2	5	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	2	4	5	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	7	5	12

できている点
<ul style="list-style-type: none">・その他のサービス機関と会議は設けていないが、記録や口頭で支援内容の情報共有はできている。・外部の研修は限られた人数しか参加できなかったが、法人内の研修には参加できた。

できていない点
<ul style="list-style-type: none">・コロナ感染拡大防止のため、研修等開催がなかった。・研修が開催されても、参加者は限定されていた。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍の中、地域の方や外部の方との関わりかたを考えてみる。・その他サービス機関との連携を継続し、利用者様が不安にならないように支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 12日 (月)

7. 運営

メンバー 上口、地頭所 (奈)、牧内、下水流、有村、谷口
作下、下田平、永野、中玉利、地頭所 (清)
地頭所 (梨)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	6人	2人	人	12人

前回の改善計画
なんでも話し合える環境を作り、発言の少ない職員には発言できるように前もって、話し合う内容を伝えておく。 送迎時間を活用し、ご家族に意見等を言いやすいように関係性を築いていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ミーティングや朝の申し送りの時に職員の意見や情報の伝達は増えてきている。 ・利用者様、ご家族の意見も送迎時に傾聴し他の職員にも周知できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	8	2	3	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	8	1		12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5	1	3	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	3	4	3	14

できている点
・日々の業務の中でいつでも職員間で意見が言える環境である ・ミーティングや申し送りノートを見て、意見が言えている。 ・感じた事や思ったことはいつでも意見が言えている。 ・家族や利用者様から意見や苦情があった時は即座に協議し対応ができている。 ・送迎時を活用して家族とは会話ができている。

できていない点
・コロナ感染拡大防止の為、地域との交流ができていない。 ・外部との交流の機会がない。

次回までの具体的な改善計画
・報、連、相がより一層、全職員ができるように常に改善方法を話し合う。 ・今まで通り、利用者様・ご家族の意見、苦情には丁寧に対応していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 12日 (月)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 上口、地頭所 (奈)、牧内、下水流、有村、谷口
作下、下田平、永野、中玉利、地頭所 (清)
地頭所 (梨)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	2人	人	12人

前回の改善計画
勤務形態を考慮し、研修、ミーティングの参加を隔たりなくしていく。また、法人内の研修内容を職員のスキルアップにつながるような題材になるように提案する。 一人一人の利用者様の身体状況も歳を重ね変化しているので、その都度、身体状況を把握し、利用者それぞれのリスクを取り上げ職員間で共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> 研修・ミーティングに参加しスキルアップになった。 利用者様の身体状況に応じてリスクを取り上げ、職員間で共有はできた。 ミーティングにおいては、月担当になった時は資料を集め、発表する事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	5	1	2	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	3	2	4	12
③	地域連絡会に参加していますか			8	4	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	8			12

できている点
<ul style="list-style-type: none"> スキルアップ研修に参加している。 月1回ミーティングの時にヒヤリハットや事故報告書の統計をとり、リスクマネジメントの話し合いができています。 法人内の研修やミーティングには参加できている。 勤務が休みの時も記録を見て勉強ができています。 利用者様の動向を注視して対応ができています。

できていない点
<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の為、研修が開催されていない。

次回までの具体的な改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ミーティングの時に発表する事例や予防策などを解りやすいように伝達できるようにしっかりとめる事ができる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4年 12月 12日 (月)

9. 人権・プライバシー

メンバー 上口、地頭所 (奈)、牧内、下水流、有村、谷口作下、下田平、永野、中玉利、地頭所 (清) 地頭所 (梨)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	2人	人	12人

前回の改善計画
引き続き、研修や勉強会を開催し、職員の質の向上に勤める。 成年後見制度や介護保険制度など、知識不足や経験不足の職員に理解できるように資料を提供し、勉強会を開
前回の改善計画に対する取組み結果
・研修、勉強会の質があがり、職員一人一人が積極的に取り込むようになった。 ・成年後見人の勉強会の機会がなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	3			12
②	虐待は行われていない	11	1			12
③	プライバシーが守られている	9	3			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	1	1	2	12
⑤	適正な個人情報の管理ができています	8	4			12

できている点
・月1回のミーティング・Zoom研修で勉強はできている。 ・利用者様、ご家族のプライバシーは露出しないように心がけている。 ・職員のプライバシーも守られていると思う。 ・プライバシー・情報に関しては徹底している ・身体拘束、虐待についてはニュースで話題になった時は、その都度話し合いができています。

できていない点
・成年後見制度を理解できていない。 ・

次回までの具体的な改善計画
・身体拘束、虐待「0」を目指し、全職員ができるように常に改善方法を話し合う。 ・成年後見人について勉強会を開催する。

外部評価 地域かかわりシート② (結果まとめ様式)

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？			
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい			
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？			

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

《働きやすい職場を継続するために、職員間で意見を言いやすい環境にする。》

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？			
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？			
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？			

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画に対して意見】

《今以上にコロナ感染拡大を防止するため消毒、換気を行っていく。》

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【今回の改善計画】※後日記入

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	職員はあいさつできていますか？			
2	事業所は、地域の方に知られていますか？			
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？			
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？			

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画に対して意見】

《地域とのつながりは必要なので、数少ないイベントに積極的に参加する。または地域の特徴のある場所や観光地に利用者を連れていく。》

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？			
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？			
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？			
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p>
<p>【前回の改善計画に対して意見】 《コロナ禍で地域の方やご家族の方との関わる機会が減少してきたが、ここでの利用時の様子や、レクリエーションの一環として行ってる行事等の様子を写真などに残し、事業所全体をアピールし地域と関わっていく。》</p>
<p>【「地域に向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p>
<p>【改善計画】 ※後日記入</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？			
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？			
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？			

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画に対して意見】

《年4回運営推進会議を開催できるように、1M以上の間隔、マスクの装着、換気等をする。また同じ部屋で開催できない時に書面以外で対応できないか対策を考える。》

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？			
2	事業所は、地域の防災訓練に参加していますか？			
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？			
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？			

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画に対して意見】

《地域で防災訓練を実施する時に、ここが避難所あることを地域住民に知ってもらう。》

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人誠心会	代表者	前原 くるみ	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の中で安心して暮らしていけるように、地域の力をつなぎ、「あったか地域で、あったか交流、みんなでつくろうあったかの輪」を作り上げ、利用者個々が尊厳のある暮らしが送れるように支援する。 ・事業所特有の理念「思いや願いを安心に変え、笑顔の輪を広げます」を元に、職員全体が同じ意識で取り組んでいきます。
事業所名	小規模多機能ホーム百佑	管理者	下原 称子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	1人	1人	1人	1人	3人	2人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	働きやすい職場を継続するために、職員間で意見を言いやすい環境にする。	ミーティングや申し送りなどで情報の共有ができ、以前より言いやすい環境ができています。	良い環境になっている。行事報告や写真を見たら様子がよくわかり安心して利用させてもらっています。	業務中に、情報や意見が言える時間を数回もつことで、情報共有ができ、利用者様への対応が統一できるように心がける。
B. 事業所のしつらえ・環境	今以上にコロナ感染拡大を防止するため消毒、換気を行っていく。	補助金で空気洗浄機2台・サーキュレーターを2台購入し、定期的な換気や消毒を行っている。利用者様の体調管理も徹底し、発熱や県外の方と接触した場合は5日間は自宅待機など行ったため、感染拡大はなかった。	今まで通りで、利用者様が住みやすい環境であれば安心です。改善計画は達成できている。面会はできるようになりましたか→5分以内の見学と窓越しの面会は実施している。	コロナに対しての扱いは緩和になっていくが、感染拡大防止を徹底するために、引き続き環境整備に努めていきたい。地域の奉仕作業には出向く事ができないので、事業所周辺は常に掃除をし、花を育て、好印象を持って頂くように努めていく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域とのつながりは必要なので、数少ないイベントに積極的に参加する。または地域の特徴のある場所や観光地に利用者を連れていく。	コロナ禍で参加ができない事が多かった。今年の4月からは、花見などを計画中。地域との関わりはコロナもありまだ難しい。	コロナが5類になる。外出なども楽しみにしている利用者もいるので、出先で地域の方と挨拶程度ができたらいいいですね。	コロナ禍で地域との交流が困難ではありますが、感染対策を継続しながら、少人数から参加を試みる。屋外でのイベントは距離を置き、参加できるように取り組みたい。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ禍で地域の方やご家族の方との関わる機会が減少してきたが、ここでの利用時の様子や、レクリエーションの一環として行っている行事等の様子を写真などに残し、事業所全体をアピールし地域と関わっていく。	ご家族には2ヶ月に1回行事などの様子を百佑だよりに掲載し発行している。ご家族も楽しみにされていて、「まだですか。」と声も聴かれた。独居の方は、地域の方、近所の方へ声かけしている。	地域によって資源が異なるので、地域住民に聞くのも1つの方法である。	それぞれの地域資源を知り得たときには職員間で共有し、業務に活かしていく
E. 運営推進会議を活かした取組み	年4回運営推進会議を開催できるように、1m以上の間隔、マスクの装着、換気等をする。また同じ部屋で開催できない時に書面以外で対応できないか対策を考える。	6回開催はできたが、2回は紙面の報告になった。会議の時に意見を求めても、意見が少ないので、質問方法を変えていきたい。	百佑だよりや運営推進会議での資料等を見て安心しています。家族がいるので、何かある時は連絡してくれば対応します。	引き続き年6回の運営推進会議を開催できるように努め、ご家族、地域住民の方にたくさんの意見を頂けられるように質問内容を具体化していく。
F. 事業所の防災・災害対策	地域で防災訓練を実施する時に、ここが避難所あることを地域住民に知ってもらう。	地域に出向けず、知ってもらえる手段もどうしていいのかわからず、実行はできなかった。地道に今後も地域住民にアピールしていく。	自治会に入れば、情報がもらえるのでは→自治会に相談したが、できなかった。自分たちのキャパを知っておくといいと思う。	災害はいつ起こるか想定できないので、積極的に訓練に参加し知識を身に付けていく。また、日置市のハザードマップの存在を知らない職員もいるので、ミーティングで周知していく。

